

## 平成30年度 「島内で働くことを考える会」実施要項

中五島高校進路指導部

1. 目的 島内で活躍しておられる方々に、島内で働くことの意義や魅力、将来性や課題についての講話をしていただき、進路意識の高揚と仕事についての理解を深め、同時に郷土愛を育む。
2. 日時 平成30年11月14日(水) 5・6校時(13:20～15:10)  
開会行事 13:20～13:25(5分)  
各講演 13:25～14:40(15分×5)  
グループワーク 14:45～15:05(20分)  
閉会行事 15:05～15:10(5分)
3. 場所 本校商業実践室(全体会)  
グループワーク(集会室、社会科教室)
4. 講師 (1) 建設業関係(大宝建設株式会社 柴田久直様)  
(2) 水産業関係(のぞみ漁業株式会社 福田健太様)  
(3) 福祉関係(新上五島町社会福祉協議会 田島伊勢次様) 中田  
(4) 接客・飲食・起業関係(和処 よかよ 名切佐年様)  
(5) 接客・事務(日本郵便若松郵便局 近藤茜様)
5. 内容 5名の講師の方々から、各15分程度の講話をしていただいた後、グループに分かれて20分程度の質疑・応答を行う。
6. 対象 1、2年生全生徒および保護者  
(3年生は5時間目授業、6時間目LHR)



平成30年11月29日

大宝建設

柴田 久直 様

長崎県立中五島高等学校長

中山



「島内で働くことを考える会」について（お礼）

初霜の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度はご多用中にもかかわらずご来校のうえ、貴重なご講話をいただき誠にありがとうございました。また、お連れいただいた本校卒業生の西村様、濱口様にも、先輩として本校生に貴重なお話をいただき、感謝しております。

今回の講話やグループ別意見交換会を通して、生徒たちは島内で働くことの意義や魅力、柴田様の島に対する強い想いを感じ取ることができたと思います。また、将来の進路選択の際の一つの大きな指針を与えていただき、今後もより一層学業に専心することと思います。

今後とも本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

柴田様をはじめ、大宝建設の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、略儀ながらお礼といたします。

## 全体会

今日の島内で働くことを考える会で、様々な職種の方から話を聞いて、多くのことを学ぶことができました。お話をしてくださった方の5人のうち4人が、一度島外に出たことがあるというので、それでも島に戻ってきて働きたいと思ったというのは、それだけ、この島には魅力があるんだなと思いました。また、私は島外での就職を考えていましたが、近藤さんのお話を聞いて、島内にしかない良さを活かすために、島内就職を考えるのもいいなと思いました。

発表を聞いていて、皆さん自分の仕事にやりがいを持って働いていることが伝わってきました。皆さんきつい大変だろうなと思いますが、「大きな達成感を感じられる」と言っているからしゃつたので、誇りを持ちながら働いているらっしゃるんだな、と思いました。私も働き始めたら、仕事への目標を忘れずに、仕事を楽しみながら頑張りたいです。そして、自分の仕事に自信が持てるようになったら、私も、母校で堂々と島内で働くことのやりがいを話せる人になりたいです。

全ての企業の方が、この島で働けて良かったとおっしゃっていて、皆さんがこの島を愛しているという思いがすごく伝わってきました。また、一度は島外にでたけど、「上五島に戻ってきたい」と思った方がほとんどだったので、島外から見る上五島はどれほど魅力的に見えるんだろうと思いました。そして、夢をもつことは素晴らしいというお話を聞いて、私も、卒業後の進路を決めて、たくさんの選択肢の中から自分に合ったものを選んでいきたいと思いました。

今回、島内で働かれていますの方々のお話を聞いて、上五島にある課題や故郷である上五島で働かれていますの方の上五島に対する思い、仕事のやりがい、今のうちにしておいたほうがいいところなどについて学ぶことができたので、よかったです。お話を聞いていて思ったことは、上五島で働く人の上五島愛が伝わってきて、将来、ますます上五島で働きたいという気持ちがわいてきました。

上五島に残ることで、どのようなメリットがあるか知ることができました。仕事をしていたり困ったり悩んだりしたときに相談を聞いてくれたり、支えてくれたりする人が近くにいるのは、すごく大きいなと思いました。私は、今回のお話を聞いて、上五島の魅力をたくさん知ることができてよかったなと思い、上五島に残って働きたいなと思いました。

## 建設

建設業の方々は、自分が作ったものが地図に残ることをやりがいにして仕事をされていたので、私もそのようなやりがいを見つけて働きたいと思いました。また、素直な人が一番伸びることや、目の前の課題に一生懸命に取り組むことの大切さを学ぶことができました。

大宝建設の方のお話を聞いて、中高を卒業して入社されて、建設に関する知識が何もない状態からでも、仕事を真面目取り組まれるうちに、億単位のお金がかかる工事を任されるようになったのが、すごいなと思いました。

実際に建設業に携わられている方のお話を聞いて、今まで知らなかったことや意外だと思うことが多く、建設業に興味が湧きました。建設業は常に危険と隣り合わせの仕事ですが、島の方々のために、砂防ダムなどを建設されていて、すごいなと思いました。

私は、建設業の仕事内容について、あまり知りませんでした。でも、今回、色々なお話を聞いて、興味が湧きました。例えば、何かを建設するとき、工事をするために使う車を通すためだけに使う道を作るけれど、工事が終わったら、その道を壊すということです。工事のためだけに作った道を、すぐに壊してしまわなければならないというのは、とても大変だと思いました。また、大きなダムやトンネルを作るのに2億もかかっていることに驚きました。今回、お話に来られた方々は、中高出身の先輩がいらっしゃって、上五島で働かれていることが、島に住む者として嬉しいと思いました。

今日は、建設業の方々の話を聞いて、今まで知らなかったことがたくさん聞けました。それは、作業がとても大変で、半年もかかるということです。でも作業をされる方々は、私たちの町を災害から守るために頑張ってお仕事をされているそうで、とてもカッコいいと思いました。また、作業によっては、1級や2級といった資格を持っていないといけないことも分かり、作業以外でも資格取得のための勉強をされていて、学校を卒業しても、ずっと勉強をする努力が大切なんだと思いました。